

山行報告書

作成:2006年9月16日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	中高齢安全登山指導者講習会	目的[方法]	指導者の養成と安全登山の普及
期間	2006年9月7日(木)~10日(日)	形態	講習と実技(山荘泊)
参加人数	1人(受講者:総数29人、愛知県4人)		

行動記録:

9/7(木) 雨一時強し, 中風, 26 @岡崎

自宅(530) =0:15= 岡崎 IC(545) =0:55= 養老 SA(640,715) =0:05= 関ヶ原 IC(720,725) =0:50= 杉津 PA(815,825) =0:15= 武生 IC(840,845) =0:35= 尼御前 SA(920,930) =0:25= 金沢西 IC(955) =0:25= 金沢市内(1020,1420) =0:20= 金沢森本 IC(1440) =0:35= 呉羽 PA(1515,1525) =0:10= 富山 IC(1535) =0:45<コンビニ 0:10>= 登山研修所(1630) (就寝 19:30)

9/8(金) 曇り時々晴れ, 弱風, 16 @室堂

(起床 7:00)

・講演 :「山岳遭難の現状と防止対策」(1030 - 1200) @登山研修所

登山研修所(1245) -0:05- 立山駅(1250,1300) +0:07+ 美女平(1307,1316) =0:44= 室堂(1400)

・講義 :「立山の自然と魅力」(1420 - 1550) @立山自然保護センター

・講義 :「登山の楽しさと厳しさ」(1600 - 1700) @室堂山荘

・研究協議 :「リーダーとしての役割と心構え」(1700 - 1830) @室堂山荘

(就寝 21:00)

9/9(土) 晴れ時々曇り, 弱風, 16 @室堂

(起床 5:10)

室堂山荘(637) -0:31- 祓堂(708,711) -0:14- 一ノ越(725,730) -0:50- 雄山(820,857) -0:23- 大汝山(920,1110)

-0:58- 真砂岳降下鞍部(1208,1215) -0:33- 別山(1248,1352) -0:08- 巻道分岐(1400) -0:37- 剣沢小屋(1437)

・実技講習 :固定ザイル使用法 (930 - 1040) @大汝山

・実技講習 :荒天時対策, 読図 (1255 - 1350) @別山

・講義 :「遭難事故の事例と危急時の対策」(1500 - 1630) @富山県警剣沢派出所

(就寝 20:20)

9/10(日) 薄曇りのち雨, 中風, 14 @剣沢小屋

(起床 5:00)

剣沢小屋(647) -0:13- 別山・剣御前分岐(710) -0:27- 剣御前分岐(737,746) -1:30- 雷鳥沢キャンプ場(916,1003)

-0:17- 地獄谷(1020) -0:15- 室堂(1035,1120) =0:45= 美女平(1205,1220) +0:07+ 立山駅(1227) -0:05- 登山研修

所(1232,1250) == 立山厚生年金休暇センター「ウェルサンピア立山」(1300,1415) =2:00<昼食 0:35>= 飛騨清見

IC(1650) =0:57= 美濃関 JCT(1747) =0:40= 美濃富加関 IC(1755,1800) =0:05= 美濃加茂 SA(1805,1815) =0:50= 岡

崎 IC(1905) =0:20= 自宅(1925)

・研究講義 :分科会報告, 全体協議 (930 - 1000) @雷鳥沢キャンプ場

日誌:

9/7(木) 雨一時強し, 中風, 26 @岡崎

北陸道を富山ICで降り、県道43号線で地鉄立山駅に向かう。途中、上滝駅近くのサークルKで夕朝食とビールを買い出す。(この先にはコンビニは見かけなかった。) 立山駅前のロータリーを過ぎ、線路を渡って直ぐに右手に分かれる道に入る。駅の従業員駐車場を横目に見て直進すれば、文部科学省登山研修所(文登研)に突き当たる。宿泊費640円(風呂あり)である。

9/8(金) 曇り時々晴れ, 弱風, 16 @室堂

開講式に続いて、富山県警山岳警備隊長梶田正氏から「山岳遭難の現状と防止対策」の講演があった。NHKのプロジェクトXに主役で登場した氏のお話は一つ一つ説得力があった。昼食後、室堂に移動する。

中腹は雲が懸かっていたが、室堂は雲の上でワイチョウの黄葉で彩られた秋の立山が迎えてくれた。立山自然保護センターの所長代理渋谷茂氏が、みくりが池から展望台まで案内しながら、「立山の自然と魅力」を紹介してくれた。なお、自然保護センターは3階建ての立派な施設で、「らいちょう」の知識を深めることができる。

室堂山荘にチェックインしてから食堂で、富山県山岳連盟会長木戸繁良氏から「登山の楽しさと厳しさ」の講義を受けた。ご自身の長きに渡る多くの体験と山への深い愛着から語られるお話に聞き入ってしまう。

概念図:



引き続き、4つの分科会に分かれて、それぞれのテーマで討議に入る。私は第1分科会で「リーダーとしての役割と心構え」に参加した。司会者、助言者2人、メンバー9人で1時間半に渡って熱心に討議した。所属する会の規模、目的とするところにより、リーダー養成の方法に違いはあるが、リーダーの役割、装備、心構えという点では共通点が多かった。本研修会発足の切欠となった立山真砂岳での中高年登山者の大量遭難を振り返りながら、「ツェルトを持っていたら…」、「(勇気を持って)引き返す判断をしていたら…」と、痛ましい事故を繰り返さない思いを強くした。18時30分からお待ち兼ねの夕食(懇親会)、山小屋と思えぬご馳走にビールがすすみ会話が弾む。

9/9(土) 晴れ時々曇り, 弱風, 16 @室堂

入念にストレッチをしてから行動に入る。一ノ越まで石畳の遊歩道が続く。祓堂の手前にはまだ雪渓が残り登山道を覆っていた。不慣れな観光登山者は恐る恐る歩いていた。雄山神社で安全登山を祈願してから大汝山へ向かう。ここでは、「固定ザイルの使用」実技講習があった。シュリングで簡易ハーネスを作り、プルーチックで確保を取って下降する練習を丹念に行った。黒部湖を見下ろし後立山の嶺々を眺めながら昼食をとる。遭難者を追悼するケルンが建つ真砂岳を越えて別山に至る。ここでは、「危急時対応」としてツェルト設営の講習があった。底面の固定にマジックテープを付けたたり、内側にフレームを入れて居住性を良くしたり、参考になる工夫が沢山紹介された。剣沢に降って管理所前の広場で、山岳警備隊小隊長柳澤義光氏から「遭難事故の事例と危急時の対策」を講義いただいた。最前線で活躍されている柳澤氏のお話は現場での緊張感が伝わってきた。

9/10(日) 薄曇りのち雨, 中風, 14 @剣沢小屋

朝焼けの剣に見送られて、剣御前小屋を越えて雷鳥沢に降る。前線が接近しているので雲の変化が慌しい。剣御前小屋で剣岳、毛勝山、後立山連峰の展望を見納めて、雨を呼ぶ風が吹き出した稜線から遅咲きのチングルマ、イワイチョウ、ミヤマキンバイなどのお花が咲く新室堂乗越を経て雷鳥沢へ足早に降る。雷鳥沢管理所前で分科会の発表会、立山自然保護センターで閉講式を行い昼前に室堂で解散となる。立山駅では本降りとなり、雨に車を洗われながら家路へと向かう。

感想:

昨年(奈良県)に続き2度目の参加である。昨年は実技講習が雨天中止となり目的半ばとなったが、今年は天候に恵まれて計画通り受講できた。実技は習得というより、自分で工夫するヒントを得る場として役立った。